警 察 署 協 議 会 会 議 録

八幡西警察署協議会

開催年月日時	令和6年2月26日 午後4時00分 から 令和6年2月26日 午後5時40分 まで	
開催場所	八幡西警察署 3階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下8名
	警察署	署長、副署長、刑事管理官、総務課長、留置管理課長、会計課長、生活安全課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長、地域課長、黒崎警部交番所長、事務局
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】 本日、家を出る前に広島で震度4の地震があったが、天災はいついかなるところで起こるか分からないものである。 北九州は自然災害が少ない土地ではあるが、事前の準備が必要だとつくづく感じた次第であるので、皆様もしっかりと備えをしていただきたい。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】 本日は、会長、副会長始め各委員の皆様、警察署協議会を開催していただき感謝申し上げます。 県警の人事異動があり、私を含めて9名の幹部が異動することになったが、いま以上に管内の安全安心に寄与していく。 治安情勢については、刑法犯や交通事故等の警察事象が増加している。 県警の運営指針が定められたことから、これに基づき、これ以上事件事故が増加することのないように一丸となって頑張っていくので、御指導のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>【報告事項等】 1 警察署協議会会長連絡会議結果報告（会長） 2 組織改編報告、運営指針説明（総務課長） 3 諮問事項に対する検討結果 (1) 黒崎繁華街における客引き・違法駐車対策について 生活安全課長から、「昨年、料飲組合に加入していない約30店舗の代表者を集めて研修を実施し、今後もボランティア団体と協力しながら、八幡西区の安心安全なまちづくりを目指してやっていきたい。」旨の報告があった。 これに対し委員から、「私たちも客引き対策に注力しながら、より商店街</p>		

議 事 概 要

が活性化することを期待している。」旨の意見があった。

(2) 交通事故対策について

交通課長から、「12月に年末の交通安全運動を実施し、八幡西区役所において事故抑止に関するポスター展示や、店舗の電光掲示板を利用した広報啓発などの活動を行った。今後も各種団体と協力しながら交通事故抑止に努めていきたい。」旨を報告した。

会長から、「警察では、今後どのような対策や啓発活動を考えているのか。」旨の質問があり、交通課長から「飲酒運転については、主にコンビニの店長さんをお願いして通報訓練を行っており、今後は、各事業所の安全運転管理者との連携も考えている。また、事故抑止に大事なものは交通取締りだと考えており、広報啓発と併せて取締りもしっかりやっていきたい。」旨の回答があった。

委員から、「3号線で信号のないところを横断している歩行者を見かけるが、何かしらの対策が取れないか。」旨の要望があり、交通課長から、「区役所に協力いただき、横断歩道がどれくらい先に設置されているかを表示する方向である。また、夜間の歩行者に対し、反射材を提供し、明るい服装と横断歩道を通行するように呼びかけ活動を行っている。」旨の回答があった。

委員から、「中央分離帯にポールが立っている箇所があるが、同所をよく高齢者が横切っている。」旨の意見があり、交通課長から、「詳細な場所の情報をいただければ、白バイや機動力のあるバイクで取締りをする事ができる。今後も情報をいただければ一生懸命やっていく。」旨の発言があった。

4 能登半島地震部隊活動報告、体験談発表（直轄隊）

【質疑応答】

- 委員から、「自転車が横断歩道を乗車したまま通過してよいのか。」旨の質問があり、交通課長から、「通行することはできるが、歩行者の通行の妨げとなる場合は降車し、押して歩くなどしなければならない。妨げとなるような状況を見かけた際はその都度指導警告を行う。」旨の回答があった。

- 委員から、「自動車で交差点を左折しようとした際、自転車が横断歩道を通過して接触しそうになった。自分たちの対応としてはどうすればよいか。」旨の意見があり、交通課長から、「左折する場合は、車の運転手は、できる限り、道路の左側端に沿って徐行して左折していただきたい、横断歩道を通行する際

議 事 概 要

は、横断しようとする歩行者や自転車（以下、「歩行者等」という。）がいないことが明らかな場合を除いては、横断歩道の直前で停止することができる速度で進んでいただきたい。歩行者等がいるときは、歩行者等の通行を妨げてはいけないので、横断歩道の直前で一時停止して歩行者等を活かしてほしい。」旨の回答があった。

【転出者挨拶】

【閉会】

以上で令和5年度第4回警察署協議会を閉会する。